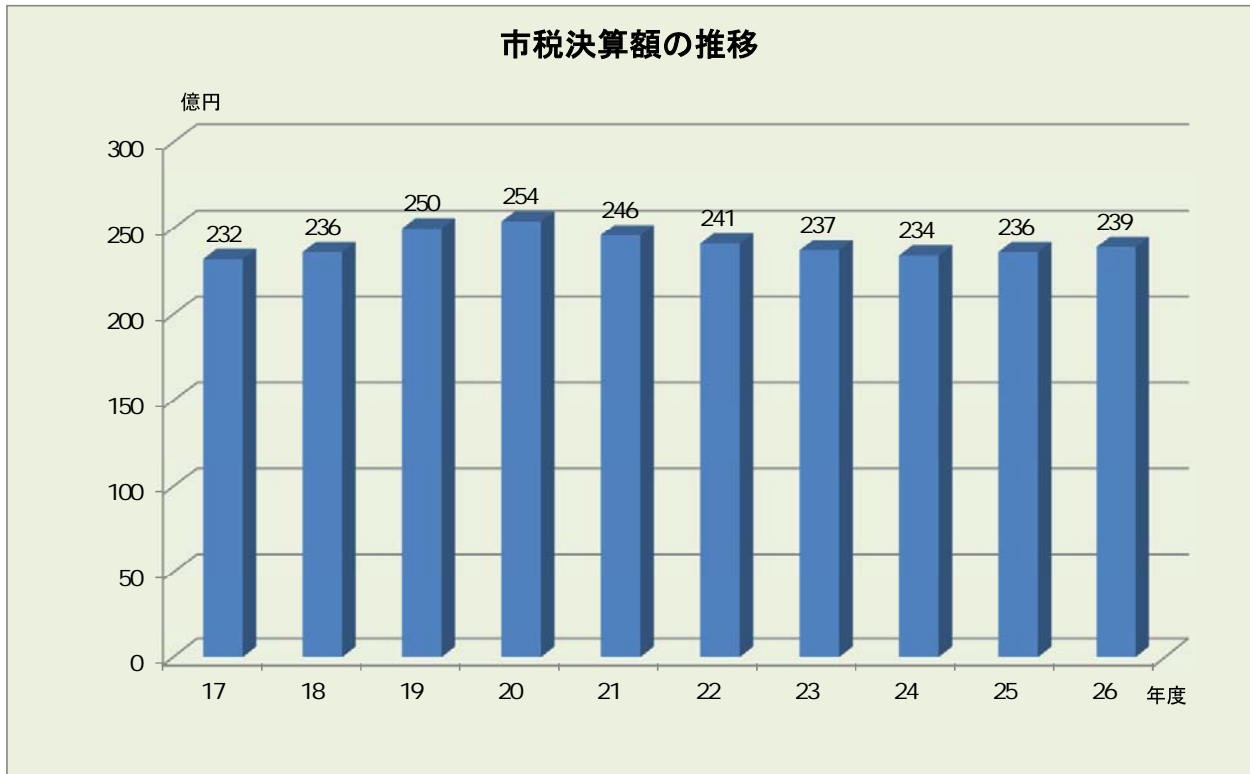


市税決算額の推移



佐倉市の市税は、平成24年度を境に、ゆるやかに増加傾向にあります。昨年度決算額は、前年度比3億円の増となりました。
 主な要因としては、税制改正による個人市民税の増収、新增築家屋の増加による固定資産税等の増収などが挙げられます。

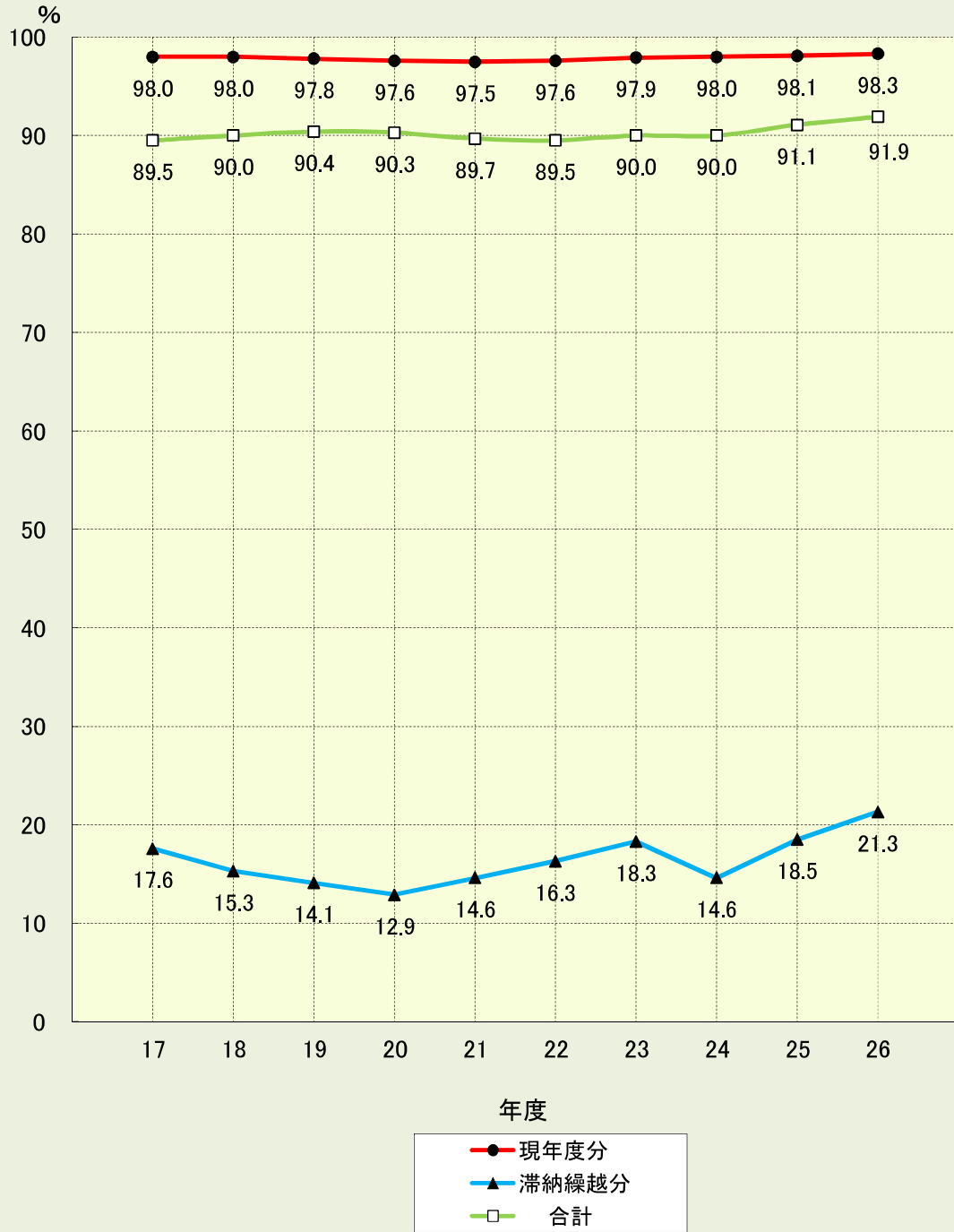
平成28年度 市税の要求状況

(単位:千円)

区 分	平成27年度			平成28年度(要求)			予算額の増減	
	調定額	予算額	収入率	調定額	予算額	収入率		
市民税	個人	12,074,067	10,987,151	91.00%	11,981,955	11,050,791	92.23%	63,640
	法人	1,194,104	1,164,597	97.53%	1,224,435	1,196,687	97.73%	32,090
	計	13,268,171	12,151,748	91.59%	13,206,390	12,247,478	92.74%	95,730
固定資産税	9,635,312	8,428,742	87.48%	9,691,944	8,749,413	90.28%	320,671	
軽自動車税	213,315	182,252	85.44%	227,791	199,821	87.72%	17,569	
市たばこ税	980,192	980,192	100.00%	964,626	964,626	100.00%	△ 15,566	
都市計画税	1,779,675	1,553,495	87.29%	1,769,348	1,593,629	90.07%	40,134	
計	25,876,665	23,296,429	90.03%	25,860,099	23,754,967	91.86%	458,538	

平成28年度当初予算要求額は、昨年度比で約4億6千万円の増額となっています。主な要因としては、新增築による家屋の増加に伴う固定資産税等の増加などが挙げられます。

収入率の推移



徴収事務にあたっては、事務の分担を現年分と過年分に分割し、現年分は、文書・電話・臨戸による催告を積極的に実施することで滞納の新規発生を防止し、過年分については、滞納者の財産調査と差押や公売などの滞納処分を積極的に実施することにより、収入率の向上に努めました。